

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2023～2024年度 国際ロータリー ゴードン R. マッキナリー 会長テーマ

CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう

創立 1954年3月8日  
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30～13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL <0566>22-2111  
FAX <0566>25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 加藤 英樹  
幹事 石川 泰隆  
会報委員長 岡田 行永

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第3239回例会プログラム

[当年度=37回目；当月=2週目]

2024年（令和6年）6月10日(月)

## 1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:15 〈食 事〉  
12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点 鐘 ……〈会 長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱……我等の生業  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 会長挨拶並びに会長報告  
7. 新会員挨拶……<sup>まつむら</sup>松村 <sup>ふみと</sup>文登 会員  
<sup>なかむら</sup>中村 <sup>さとし</sup>智 会員  
8. 退会会員挨拶……<sup>なかね</sup>中根 <sup>ひでき</sup>秀樹 会員  
9. 幹事報告  
10. 副幹事報告  
11. 出席報告  
12. 委員会報告  
13. ニコニコボックス報告  
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(6/17) ……クラブ協議会  
現理事挨拶  
(6/24) ……  
夕食例会（親睦活動委員会）  
17:30～ホテルクラウンパレス知立

## 2. クラブ協議会……………〈司会：幹事〉

- 13:00 1. 次年度方針の発表 ……次年度会長  
2. 次年度委員会別事業計画の検討  
……………次年度幹事  
15. 点 鐘……〈会 長〉  
16. 閉会宣言  
13:30 17. 散 会

## 出席

会員総数 100名 出席免除 27名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 92名  
欠 席 10名 出席率 89.13%  
前々回（5/20）の修正出席率 100%

## 会長報告

- 5月21日(火) 刈谷市社会教育センターにて開催されました刈谷市国際交流協会役員幹事会に出席しました。
- 5月30日(休) 刈谷市高齢者福祉センターにて開催されました刈谷市社会福祉協議会理事会に出席しました。
- RI財団より私、加藤英樹に
  - ベネファクターの感謝状とピンバッジ
  - マルチプルポールハリスフェロー第2回から第8回分  
が届いております。



## 幹事報告

- 本日松村会員と中村会員が入会されましたので、会員数を100名と訂正致します。松村会員は親睦活動委員会、中村会員は会場委員会の配属となります。
- 本日、例会終了後に、当年度及び次年度合同理事・役員・委員長会議を大会議室にて開催致します。関係の会員はご出席をお願い致します。

## 副 幹 事 報 告

- 1) 次年度の手帳の原稿をまわしますのでご覧頂き、訂正のない方は写真の下にOKを記入、ある方は訂正をお願いします。

## 委 員 会 報 告

### ●ロータリー財団委員会

- 1) まずは加藤会長たくさんのご寄付ありがとうございます。

日頃は、皆様にはロータリー財団委員会に、ご奉仕、ご協力頂きましてありがとうございます。おかげをもちまして、本年もたくさんの会員の方から、ご寄付を頂いております。

早いもので本年度の例会は残すところ、来週、再来週の2回となりました。再来週の例会は、ホテルクラウンパレス知立での夕食例会ですので、ホーム例会は、来週のみとなります。ご寄付をお忘れの会員の方は、なにとぞ、来週の例会の時には、私が笑顔でお待ちしておりますので、よろしく願い致します。

## 会 長 あ い さ つ

### 加藤 英樹



本日は次年度委員会別事業計画の検討です。

よく単年度制の団体では、その一年を船の航海に例えてお話しをすることがあります。今年は加藤船長の航海でしたが、来年は内藤昇船長の航海になります。

そんな船の歴史は、人類の移動、交易、戦争の歴史でもあります。

船の歴史は紀元前数千年にさかのぼります。最も古い船の一つは、紀元前4000年頃のエジプトで使われたパピルスの船です。この時代、船は主に川や湖での移動に用いられました。エジプトではナイル川を利用して、パピルスや木材から作られた船が使用されていました。

メソポタミア文明でも、紀元前3000年頃には木製の船が使われていたことが知られています。

古代ギリシャでは、交易や戦争のために多くの種類の船が開発されました。特に有名なのは「トリレメ」と呼ばれる三列漕ぎの軍艦で、これは戦闘において非常に有効でした。「トリレメ」は軽くて速く、敵の船を体当たりして破壊することができました。

ローマ帝国も船舶技術を大いに発展させました。ローマのガレー船は地中海全域で使われ、兵士や物資の輸送に役立ちました。また、ローマ人は港湾の建設にも力を入れ、これにより海上交易が一層盛んになりました。多分映画の「ベンハー」でチャールストン・ヘストンが提督に脚の鎖を外してもらった船もその船かなと思っています。

ます。

中世ヨーロッパでは、バイキングの「ロングシップ」が特に有名です。これらの船は軽くて速く、北ヨーロッパの荒波に耐えることができました。バイキングはこれらの船を使って、ヨーロッパ各地に遠征し、交易や略奪を行いました。

また、中世末期にはキャラック船やキャラベル船といった大型の帆船が登場しました。これらの船は大西洋横断航海に適しており、大航海時代の幕開けを告げるものでした。

ポルトガルやスペインはこれらの船を使って新しい航路を開拓し、アメリカ大陸やアジアへの航海を行いました。

その後、16世紀から18世紀にかけて、船舶技術は飛躍的に進歩しました。帆船の設計が改良され、航海術も発展しました。イギリス、オランダ、フランスなどの国々は強力な海軍を築き、世界中で植民地を拡大しました。この時期、「ガレオン船」や「戦列艦」が主要な軍艦として活躍しました。「ガレオン船」は大量の貨物を運ぶことができ、長距離航海に適していました。一方、「戦列艦」は強力な火力を持ち、海戦において重要な役割を果たしました。

そして、18世紀末から19世紀にかけての産業革命は、船舶の設計と動力に大きな変革をもたらしました。蒸気機関が導入され、蒸気船が登場しました。蒸気船は風に頼らずに安定した速度で航行できるため、商業航海や軍事輸送に革命を起こしました。蒸気船の普及により、航海の時間が大幅に短縮され、国際貿易が一層活発になりました。

20世紀には、船舶技術がさらに進化しました。ディーゼルエンジンの導入により、蒸気船は次第に姿を消し、より効率的なディーゼル船が主流となりました。また、鉄鋼やアルミニウムなどの新しい材料が船体に使われるようになり、船の耐久性と速度が向上しました。そして第一次世界大戦や第二次世界大戦では、軍艦や潜水艦が重要な役割を果たしました。

戦後、コンテナ船が登場し、国際物流が大幅に効率化されました。コンテナ化により貨物の積み下ろしが迅速かつ効率的になり、貿易コストが大幅に削減されました。さらに、巨大なタンカーやバルクキャリアも登場し、石油や鉱物資源の大量輸送が可能となりました。

そして、今日の船舶技術は、環境への配慮と効率の向上に焦点を当てています。燃料効率の高いエンジンや、二酸化炭素排出量を削減する技術が開発されています。また、自動化やデジタル化も進んでおり、船の運航管理がより精密になっています。例えば、GPSや自動操縦システムを使用することで、航海の安全性と効率向上しています。

さらに、再生可能エネルギーを利用した船舶も登場しています。風力を利用する新しいタイプの帆船や、太陽光パネルを搭載した船などが開発されており、これらは環境負荷の少ない航海を実現するための重要な技術とされています。

船の歴史は、人類の技術革新と社会の発展を反映しています。古代のパピルス船から現代の高度な自動化船まで、船は常に進化し続けてきました。この進化は、人類が世界中で交流を深めるための重要な手段として、今後も続いていくと言われてい

ます。さて、僕が船長を務めていた船はどんな船だったのでしょうか？ 次年度の内藤船長の船はロータリーとして最先端の船になると思います。

本日はそんな内藤船長の船の装備、性能を理解する時です。是非最後までしっかりと議論して頂き、性能をより高性能にみなさんの力で磨いて頂きたいと思

### 新 会 員 紹 介

氏 名 松村 文登  
生年月日 昭和43年10月4日  
推 薦 者 盛田 豊一 会員  
職業分類 企業保険  
事業所名 日本生命保険相互会社  
役 職 名 刈谷支社長  
所属委員会 親睦活動委員会



### 新 会 員 紹 介

氏 名 中村 智  
生年月日 昭和44年4月2日  
推 薦 者 神谷 光義 会員  
職業分類 自動車用ブレーキ部品製造  
事業所名 日進精機株式会社  
役 職 名 代表取締役社長  
所属委員会 会場委員会



### 退会会員あいさつ



中根 秀樹 会員

### 次年度方針の発表

## 会長所信および運営方針

2024～25年度会長 内藤 昇



『Let's enjoy together!』  
(みんなで楽しみましょう!)

先ず、初めに貴重な例会の1回を、次年度の準備に当てて頂き、感謝を申し上げます。

刈谷ロータリークラブは今年度70周年の節目を迎え、式典及び周年事業を盛会裏に終了したことは、皆様ご周知の通りです。さらなる飛躍へのスタートラインの年度に会長を務めさせて頂くことは、身に余る光栄であると同時に、責任の大きさを痛感致しております。

国際ロータリーのステファニー・アーチック会長は、会長テーマ

「ロータリーのマジック」(The Magic of Rotary)を公表し、多くの人びとを救うロータリーの力を認識してこれをさらに広げるよう呼びかけました。

それを受けて、2760地区吉川公章ガバナーは地区方針を「魅力ある例会 持続可能な奉仕活動 成長するロータリー」～行動計画 4つの優先事項にそって戦略計画を～とされました。

2024-25年度刈谷ロータリークラブのスローガンは『Let's enjoy together!』(みんなで楽しみましょう!)とさせて頂きました。

エンジョイとは、楽しんで面白く過ごすことと同時に何か有益なものを得ることだと考えます。

[主な運営方針]

- ・刈谷ロータリークラブの伝統を継続し、変革すべきはチャレンジする
- ・4つのテストと中核的価値観(親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップ)を確認
- ・充実した楽しい例会の開催に努める
- ・西三河分区インターシティミーティングの主管
- ・ガバナー補佐杯ゴルフ大会の主管
- ・地区補助金を活用し、子ども食堂ほっとライスの支援事業

- ・学校訪問コンサートの再開  
会員各位の絶大なるご指導、ご協力をお願いして挨拶とさせていただきます。



**当年度および次年度合同理事・役員・委員長会議次第**

- I 会長挨拶 〈会 長〉
- II 次年度会長挨拶 〈次年度会長〉
- III 当年度議題
  - 1. 年次報告書について 〈幹 事〉
  - 2. その他
- IV 次年度議題
  - 1. 7月のプログラム（案）について
    - 〈次年度クラブ奉仕委員長〉
    - 〈次年度プログラム委員長〉
  - 2. 報道関係者との懇談会について 〈次年度公共イメージ向上委員長〉
  - 3. 事業計画（案）について 〈幹 事〉
  - 4. その他
- V 当年度事業報告及び次年度引継ぎ
- VI 会場監督の所見 〈会場監督〉